

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 浦安市国際交流協会

1 事業の趣旨・目的

ボランティアで日本語を教えている者を対象にその指導力の向上を図る。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
09/5/28	明海大学	桜井、佐久間、徳田、能登、(オブザーバー;氏次、榎本、藤原、コーディネーター;松枝)	講座日程、場所、教科書、募集定員 等	議事録添付
09/6/23	明海大学	桜井、フルザンメル、徳田、能登(オブザーバー;多仁、氏次、榎本、藤原、コーディネーター;松枝)	講座内容、講師の決定、他	議事録添付

議事録添付

3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 うらやす日本語指導力向上講座
- (2) 養成講座の目標 ボランティアの日本語指導力の向上
- (3) 受講者の総数 30人
- (4) 開催時間数(回数) 60時間 (20回)。他に課外授業として明海大学日本語学科の留学生対象授業を参観
- (5) 参加対象者の要件 原則日本語ボランティア経験2年以上
- (6) 受講者の募集方法 (添付⑤チラシ)
募集チラシ及びポスターを市図書館、6箇所の市公民館、に設置。
船橋、市川、習志野の各国際交流会にチラシ、ポスターを送付し募集の依頼。
7月1日発行広報うらやす及び浦安市ホームページに募集広告。
- (7) 研修会場 浦安市国際センター
- (8) 使用した教材・リソース みんなの日本語 I 及びその手引き書

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
09/7/26 17:30~20:30	導入、日本語教授法歴史	明海大学教授 桜井隆	28人
09/8/2 17:30~20:30	導入、教授法基礎	明海大学教授 桜井隆	29人
09/9/6 17:30~20:30	みんなの日本語 1~4 課	明海大学講師 多仁安代	30人
09/9/13 17:30~20:30	みんなの日本語 5~8 課	明海大学講師 多仁安代	29人
09/9/27 17:30~20:30	語彙、和語と漢語	明海大学講師 岩佐靖夫	29人
09/10/4 17:30~20:30	音声、発声、著作権	明海大学講師 片桐史尚	29人
09/10/18 17:30~20:30	みんなの日本語 9~14 課	明海大学講師 多仁安代	24人
09/10/25 17:30~20:30	みんなの日本語 15~20 課	明海大学講師 多仁安代	27人
09/11/8 17:30~20:30	みんなの日本語 21~25 課	明海大学講師 多仁安代	24人
09/11/15 17:30~20:30	初級から中級への過程	明海大学講師 多仁安代	29人
09/11/26 10:40~12:10 13:00~14:30 14:40~16:10	明海大学日本語学科 授業参観	西川寛之講師 多仁安代講師 岩佐靖夫講師	4人 5人 4人
09/11/29 17:30~20:30	シミュレーション、実習準備、指導	明海大学講師 多仁安代	27人
09/12/3 10:40~12:10 13:00~14:30 14:40~16:10	明海大学日本語学科 授業参観	西川寛之講師 多仁安代講師 岩佐靖夫講師	4人 5人 4人
09/12/6 17:30~20:30	シミュレーション、実習準備、指導	明海大学講師 多仁安代	28人

09/12/13 17:30~20:30	シミュレーション講評、	明海大学講師 多仁安代	27人
09/12/20 17:30~20:30	実習教案作成、指導	明海大学講師 多仁安代	27人
10/1/17 17:30~20:30	実習模擬授業（1）	明海大学講師 多仁安代	27人
10/1/24 17:30~20:30	実習模擬授業（2）	明海大学講師 多仁安代	26人
10/1/31 17:30~20:30	実習模擬授業（3）	明海大学講師 多仁安代	26人
10/2/7 17:30~20:30	実習模擬授業（4）	明海大学講師 多仁安代	27人
10/2/14 17:30~20:30	実習模擬授業（5）	明海大学講師 多仁安代	25人
10/2/21 17:30~21:00	講評、総括 修了式	桜井、多仁、片 桐 各講師	27人

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート(回収率 65.5% (3月20日現在)。アンケート添付)

- ・ 講座の内容は満足だったかの設問に「そう思う」との回答は 19 件で、殆どの受講者がためになったと満足をしている。1 件のみ「どちらとも言えない」との回答だが、その回答者はボランティア歴 1 年未満の受講者で講義の進度に戸惑いを感じていた。
- ・ 明海大学の日本語授業の参観、外国人学習者 8 名を前にしての一人 20 分の実習授業も殆どの受講者が勉強になったと満足をしている。
- ・ 今後どのような講座を希望するか設問には「中級学習者に対する教え方」を希望する者が多かった。

② 実施主体からの研修内容結果評価

- ・ 8ヶ月に亘る日曜夜 3 時間の講座を中途辞退者 1 名で、29 名が講座を修了したこと自体研修の成功を物語ると思う。
- ・ 外国人への日本語指導の経験豊富な講師のため具体的、実践的指導が多く、ボランティア活動の上で大いに参考になった。
- ・ 多仁講師は最後の挨拶で感極まっておられたが、講師の熱意と受講者の熱意の相乗作用が見られた。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- ・ 現在 UIFA の日本語教室は man to man で行っているが、今回の講座で複

数学習者相手の指導方法を習ったので、今後はボランティア 1 名に対し複数の学習者の支援形態を増やし、学習者受け入れ能力を拡大する。

- ・ 中級学習者向けの教室を新設し、受入れ学習者の日本語能力の幅を拡大する。
- ・ 学習者の日本語能力取得目標を明確にし、学習支援内容の向上と学習の効率化を図る。
- ・ 市内鉄鋼団地にはかなりの外国人研修生が勤務しているが、この講座の成果を宣伝して、研修生の UIFA 日本語教室への参加を勧誘する。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

- ・ 浦安市外参加者(市川、船橋、習志野)が 7 名いたが、市外者との交流が図られた。市外者の一人は来年は自分のところでも文化庁に申請して同様の講座を開きたいと言っていた。

② 研修後の人材活用

- ・ 中級クラスを新設し、講座修了者を指導者として活用する。
- ・ 講座修了者を講師として、ボランティア初心者の教育を担わせる。

(12) 今後の課題

- ・ 学習支援内容の充実と学習の効率化。
- ・ 日本語教育支援以外の外国人の支援の検討。